

事務事業名		小学校バリアフリー化事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課
	政策	1	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり				担当係	学校施設係	担当課長名	吉田 重弥	
	施策	2	安全で安心して学べる教育環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	安全で快適な学校施設の整備				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	13188	一般	10	2	1	小学校バリアフリー化事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	24年度～27年度		根拠法令 条例等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律					
	事業区分						任意的事業・義務的事業		義務的事業		
	事業区分						実施方法		直営		
事業区分						事業分類		施設等整備事業			
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
体に障がいのある児童の就学、編入に伴い、校舎内の階段部に身障者専用のイス式階段昇降機や昇校口やトイレに手摺り、段差のある場合はスロープなどを設置し、走行・移動の際の負担が軽減する。					植野小 バリアフリー化工事発注 27年度へ繰越						
活動指標					単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
肢体不自由児特別支援学級を開設し、施設の整備を新たに必要とする学校					校	1		1			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
身体に障がいがある児童					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
利用を予定している児童数					人	1	1	2	2	2	
学校数					校	1	1	2	2	2	
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
身体に障がいのある児童の負担が軽減し、自立して、教育を受けることができる。					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
バリアフリー化率=バリアフリー化完了施設数/バリアフリー化対象施設数					%	33.3%	33.3%	37.0%	37.0%	37.0%	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
学校基準に適合している。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
施設の不具合が事後につながった件数					件	0	0	0	0	0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円		4,893		14,786				
	事業費計(A)	千円		4,893	0	14,786	0	0		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			工事請負費	4,893			工事請負費	14,786		
	人件費	人		1		1				
のべ業務時間	時間		40		40					
人件費計(B)	千円		156	0	158	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円		5,049	0	14,944	0	0			

事務事業名	小学校バリアフリー化事業	担当部	教育総務部	担当課	教育総務課	担当係	学校施設係
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	特別な教育的支援を必要とする児童受入れに向けて、施設を整備する。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成19年4月から、「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられ、すべての学校において、障がいのある児童の支援をさらに充実していくことになった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市民団体や議会において、いす式階段昇降機がないことで、児童の活動を制限しているほか、教職員の負担にもなっていることから、議会でも取り上げられていて、障がいを持つ児童が通学している学校への設置の要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 いす式階段昇降機設置により学校のバリアフリー化が進み、走行・移動の際、障がい者の負担が軽減し、自立し、教育を受けることができるようになることで、快適な学校施設の整備に繋がり、対象と意図はあっている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
目的 妥当性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の第六条【施設設置管理者等の責務】で、「高齢者、障がい者等が日常生活又は社会生活において利用する施設を設置し、又は管理する者は、移動等円滑化のために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と規定されており、学校教育法第5条の規定により、学校の設置者である市が事業を行なうのは、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 身体に障がいのある児童の負担を軽減し、自立して教育を受けることができるようにするための整備であるので、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 身体に障がいのある児童の負担を軽減するための、最低限の整備であり、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
有効性 評価	類似事務事業はない	類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入	理由・改善案
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
効率性 評価	削減の余地はない	理由・改善案 必要最小限の所要時間で設計・施工監理で行なっており、コスト削減の余地はないと考える。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」及び学校教育法第5条の規定により、学校の設置者である市が負担するのが妥当であり、障がい者又はその家族等に負担を求める必要はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	バリアフリーは、障がいを持つ生徒が就学する学校では、必要不可欠な事業で、バリアフリー化が完了することで事業終了となる。小中学校の適正配置により廃校が決定した上、廃校利用の計画が策定されず、取壊しが決定した場合は事業廃止となる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			